

「京都おぶぶ茶苑」のプレスリリース

2010.12.1

おぶぶ海外普及ツアー2011、アメリカ&アジアへ

～7回目のツアーは、世界の茶畑をつなぐ活動の推進をメインに～

【概要】

京都・和束（わづか）町の農業ソーシャルベンチャー【京都おぶぶ茶苑】（代表：喜多 章浩 <http://obubu.com/> 0774-78-2911）は、2004年から毎年農閑期に行ってきた、海外日本茶普及ツアーを2011年も行う。今回は、今までの主な訪問地であった米国に加え、アジア数カ国も訪問することに決定。単に日本茶の普及ではなく、世界の茶農家をつなぐ「インターナショナル・ティーファーム・アライアンス」（※2 枚目新聞記事参照）の設立に向けた具体的な動きを進めることも今回の訪問の大きな目的としている。

■おぶぶ茶苑「おぶぶの海外普及ツアー2011」の概要

ハワイ・米本土

担当：代表 喜多

日程：2010年12月下旬～2011年1月上旬 18日間

予定：（ハワイ）ホノルル市の有名私立高校「イオラニ」にて授業、元JET（文部科学省のJapan Exchange & Teaching Programme）の参加者対象の講演、ハワイ島の茶農家の団体Hawaii Tea Societyにて講演、ハワイ島の農園訪問

（米本土・オハイオ州）シンシナティー市のカフェにてデモンストレーションと講演、コロンバス市の日本語学校にて授業、コロンバス市のカフェにてデモと講演 他調整中

アジア

担当：副代表 松本

日程：2011年1月下旬～2月上旬 約2～3週間

予定：台湾、韓国、インドネシア（以上確定）、中国（調整中）にて、茶農家訪問とデモンストレーション・講演等

（詳細な内容は現在調整中）

■関連WEBサイト

▼ おぶぶ茶苑HP 海外普及活動情報

<http://www.obubu.net/oblog/?p=4141>

■お問い合わせ先

【京都おぶぶ茶苑】 <http://obubu.com/> 担当：松本 靖治

電話：0774-78-2911 携帯：090-6129-6184

mail：obubu@obubu.com FAX：0774-78-2215

住所：619-1213 京都府相楽郡和束町南大生水4-4

（JR加茂駅よりバスまたはタクシー15分）※事務所・茶畑にて取材可能です

事業内容：茶の生産と販売（小売、卸）



前回のツアーで。ホノルル市長（右）とおぶぶ副代表松本（左）

3月4日のプレスリリースです。朝日新聞さまにこのように掲載いただいた後、本日のリリースのように少しずつ歩みを進めております！

「京都おぶぶ茶苑」のプレスリリース

2010.3.4

朝日新聞さまにご掲載いただきました！ 「茶農家の輪 世界とつなごう」

2009年12月～2010年1月にかけてプレスリリースしました、ハワイでの和東茶普及活動、そしてその後の展開状況につきまして、以下のように朝日新聞さまにご掲載いただきました。

2010年(平成22年)3月4日 木曜日 13版△

茶農家の輪 世界とつなごう



和東町の農業ベンチャーグループ「京都おぶぶ茶苑」が、世界の茶生産者をつなぐワールド・ティーファーム・アライアンス(提携)の設立に向けて活動を始めた。すでに、ハワイの茶農家と提携を実現。ホームページを立ち上げ、それぞれの茶畑を紹介し、茶の販売もする。将来的には、中国、インドなどの産地との連携を視野に入れている。(西江拓矢)

ハワイと提携 中印も視野

同グループは、農業や化学肥料 には英語サイトも立ち上げるなどの使用を抑えて茶を栽培し、インターネットなどで販売。今年初め さらなる茶の普及、和東茶のPR

ハワイの茶農家を訪問した京都おぶぶ茶苑副代表の松本靖治さん(中央)＝ハワイで、京都おぶぶ茶苑提供

和東の農業「未知の可能性」

ベンチャー

Rのため、副代表の松本靖治さん(35)らが昨年12月から今年2月まで、ハワイとアメリカ本土を回った。このうちハワイの茶農家と連携について合意した。

松本さんによると、ハワイでの本格的な茶栽培の歴史は浅く、現在は10戸ほどの茶農家が無農薬栽培などに取り組んでいる。個々の農家で製法も違い、商品は個性的な味や香りがあり、人気も高いという。

近くティーファーム・アライアンスの窓口となるホームページを立ち上げ、ハワイと和東の双方の茶畑や茶商品の画像を載せる。安全性の高い生産にこだわる世界の零細農家にも参加を呼びかけていくという。

松本さんは「国内の需要は低迷しているが、海外では緑茶の人気は高い。産地ごとの違いもおもしろく、興味を引くのでは」と期待する。栽培を担当する京都おぶぶ茶苑代表の喜多章浩さん(34)も「世界には未知の可能性を感じる」と意気込んでいる。

今後は、世界の茶産地を巡るツアーを企画するアメリカの茶業者とも提携し、海外から和東を訪ねるツアーの実現も目指すという。